

## サウジアラビア西部の環境負荷を大幅に削減するサステナブルな次世代型海水淡水化プラント「シュアイバ3」に逆浸透膜を供給



2025年7月16日  
東レ株式会社

東レ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：大矢 光雄、以下「東レ」）は、このたび、東レグループ現地子会社であるToray Membrane Middle East LLC（所在地：ダンマン、略称「TMME」）を通じて、サウジアラビア王国のシュアイバ3海水淡水化プラントに逆浸透（RO）膜を供給しました。このプラントの処理能力は日量60万立方メートルで、近年、人口増加やインバウンド需要により水需要が高まっているサウジアラビアのメッカ、ジエッダ、タイフ、アルバハの地域に安定的に飲料水を供給する、重要な水ライフラインとなります。

【写真】シュアイバ3 海水淡水化プラントの全景と水処理膜設備



シュアイバ3プラントは、多くのエネルギーを消費し、大量のCO<sub>2</sub>を排出する従来の蒸発法\*による海水淡水化施設を最先端の逆浸透膜法により、環境負荷を大幅に低減した淡水化プラントに変換する、画期的なプロジェクトです。またその稼働電力の65 MWp相当が専用太陽光発電システムによって賄われ、このプロジェクトの環境負荷削減効果はCO<sub>2</sub>排出量約4,500万トン／年、原油使用量約2,200万バレル／年にものぼり、持続可能な開発と脱炭素化に向けたサウジ・ビジョン2030を体现した取り組みのひとつです。

この環境負荷低減に向けたサステナブルで革新的なプロジェクトに東レが採用されたことは、サウジアラビア王国をはじめとする中東地域での持続可能な水インフラ整備に貢献する、先進的な膜技術を長年提供してきたことが評価されたものです。東レは今後も当該地域の安定した水供給により一層貢献するため、販売品目の拡充や水処理技術サービス拠点（MEWTEC）\*を設立するなど、現地における販売・技術・生産体制を強化しています。これはサウジ・ビジョン2030に掲げられた産業の現地化および持続可能な発展の目標や、持続的かつ健全な成長の実現に向けた東レの長期経営ビジョン“TORAY VISION 2030”とも一致しています。

東レは、逆浸透（RO）膜、限外ろ過（UF）膜、MBR（膜分離活性汚泥法）膜というすべての膜種を自社開発でラインアップする、総合水処理膜メーカーです。その製品の適用範囲は飲料、工業、農業、排水処理、廃水再利用など多岐に渡りますが、その幅広い製品ラインアップによりあらゆるニーズに対するソリューションを提供することが可能です。今後も、最先端の水処理膜技術を提供し続けることや、需要地での技術サービスをより一層強化することにより、産業拡大、人口増加により今後ますます水需要が拡大することが見込まれる中東地域をはじめ、世界の水問題解決に貢献してまいります。

#### 【概要説明】

1. 設備所在地：サウジアラビア王国シュアイバ
2. 生産能力：日量60万立方メートル
3. 事業会社：Shuaibah Three Water Desalination Company
4. 建設請負業者：Doosan Enerbility Co., Ltd. (韓国)

#### 【プラント及びTMME所在地】

\*蒸発法

海水を沸騰蒸発させ、その発生蒸気を凝縮して淡水を得る海水淡水化技術。

\*MEWTEC設立に関するリリース

<https://www.toray.com/news/article.html?contentId=1bt8zoyu>

以上

本事業に関するお問合せ □



Copyright © 2025 TORAY INDUSTRIES, INC.